

(平成 24 年度に授与された受賞・表彰)

【工作部門】

藤枝 洋二

賞の名称：平成 23 年度土木学会技術功労賞

表彰理由：

採用時に、新たに設置されたばかりの構造研究室に配属され、実験機器、供試体の製作に地道に取り組み特に研究室の主要テーマであった曲線桁橋の曲げ耐荷力の研究で、供試体を高精度に製作し研究の遂行に大きく貢献し、東広島キャンパス移転後は、鋼部材の疲労実験や圧縮耐荷力実験に加え、高強度コンクリート梁や、7 m を超える大型鉄筋コンクリート梁供試体の製作、載荷実験の実施、これと並行し学生に正しい機器の使い方を指導し安全な作業環境に心がけて円滑に実験室を運営してきました。

また、探究心・研究心が旺盛で、筆頭著者として論文発表し、科学研究補助金にも採択されており、実験設備の維持管理、供試体の製作技術、精度の高い載荷実験技術は、これらの研究成果に裏付けされたもので、教育研究に大きく貢献しています。さらに公共精神に富み、河川の清掃のボランティア活動に加え広島市佐伯区・安佐北区の集中豪雨による土砂災害での民家の土砂撤去にも尽力しました。これに加え小中学生への地震体験の場を提供したり、トラス構造の解説をしたりする等、土木の重要性や技術の啓蒙活動に大きな貢献をしています。

授与者：公益社団法人土木学会長

授与年月日：平成 24 年 6 月 14 日

新谷 博志

賞の名称：2012 年度日本分析化学会有功賞

受賞理由：

多年にわたり分析化学に関する実務に従事し、我が国の科学技術の興隆に寄与した。

授与者：公益社団法人日本分析化学会長

授与年月日：平成 24 年 9 月 20 日

【フィールド科学系部門】

山口 信雄

賞の名称：2012年度日本育種学会論文賞

受賞(共著)者：

Fumiya Taniguchi, Kazumi Furukawa, Sakura Ota-Metoku, Nobuo Yamaguchi, Tomomi Ujihara, Izumi Kono, Hiroyuki Fukuoka, Junichi Tanaka

受賞論文：Construction of a high-density reference linkage map of tea (*Camellia sinensis*).

掲載号・頁：Breeding Science 62(3), pp.263-273

http://www.nacos.com/jsb/07/07prize_2012.html

(平成 25 年度に授与された受賞・表彰)

【フィールド科学系部門】

岩崎 貞治

賞の名称: Zoological Science Award 2013 (論文賞) および藤井賞

受賞(共著)者:

Makoto Urata, Sadaharu Iwasaki, Susumu Ohtsuka

受賞論文: Biology of the Swimming Acorn Worm *Glandiceps hacksii* from the Seto Inland Sea of Japan.

掲載号・頁: Zoological Science 29(5), pp.305-310

受賞理由:

筆頭著者はこれまでギボシムシに関する系統・分類・発生・進化・生態といった幅広い分野にわたる総合的な自然史科学を推進しており, 後口動物の進化を考える上で極めて重要なこの群に関する動物学的知見の増進に大きく寄与してきた. 本研究で著者らは瀬戸内海の小久野島(「こぐのしま」乃至「こくのじま」)で発見したハネナシギボシムシを2年間にわたって定期採集し, 詳細な飼育観察に基づいてその行動・生態を明らかにした. 恐らく将来にわたってこの分野の教科書に引用され続けるであろう好論文である.

授与者: 公益社団法人日本動物学会理事会

授与年月日: 平成 25 年 9 月 27 日